

「第7次沖縄県医療計画」（子宮がん）専門的がん診療医療機関の選定要件案

開催日時：平成30年12月11日（火）19：00～20：00

開催場所：琉球大学医学部附属病院がんセンター

子宮がん

- (1) 常勤の婦人科腫瘍専門医（特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会）のいる施設
又は 常勤の子宮悪性腫瘍に対する手術の件数が年間12例以上ある施設。

注釈：手術件数に関しては、浸潤がんに対する外科的治療を指す。

○注釈の理由：日本婦人科腫瘍学会専門医制度規則の指定修練施設認定による。

- (2) の要件は削除する。

○削除の理由：現在は全ての化学療法施設が整備され機能しているため、要件より削除する。

- (3) 子宮頸がんおよび子宮体がんに対して、薬物療法または放射線療法を実施している施設。

○理由：治療方法の多様化により、薬物療法および放射線療法のみと示したほうが、県民の理解を得やすい。

「第7次沖縄県医療計画」(肺がん) 専門的がん診療医療機関の選定要件案

開催日時：平成30年12月19日(水) 19:00~20:00

開催場所：琉球大学病院 管理棟 3F 大会議室

肺がん

- (1) 常勤の呼吸器専門医もしくは常勤のがん薬物療法専門医、かつ常勤の呼吸器外科専門医のいる施設。

呼吸器専門医 (社団法人日本呼吸器学会)

がん薬物療法専門医 (公益社団法人日本臨床腫瘍学会)

呼吸器外科専門医 (特定非営利活動法人日本呼吸器外科学会)

- がん薬物療法専門医を追加した理由：薬物療法(分子標的薬を含む)の治療の増加に伴って。

- (2) 肺がんに対する化学療法を施行している施設。

- (3) 肺がんに対する放射線療法を施行している施設。

- (4) 肺がんに対する手術の実績が過去3年間の平均手術件数が年間30例以上。

- 3年間とした理由：医師の異動などにより、1年間とすると件数にバラつきが出るため。

- (5) 過去3年間の新規治療(手術、薬物療法、放射線療法などすべて含む)の平均症例数が年間100症例以上。

- 新規治療を追加した理由：治療の種類に関わらず治療の受け入れ施設を選定したいため。

- (6) (2) ~ (5) を満たさなくても、エキスパートの協議によって認められた施設。

「第7次沖縄県医療計画」(乳がん) 専門的がん診療医療機関の選定要件案

開催日時：平成30年12月19日(水) 19:00~20:00

開催場所：琉球大学病院管理棟 3F 大会議室

乳がん

- (1) 常勤の日本乳癌学会専門医 又は 常勤の日本乳癌学会認定医のいる施設。
 - (2) 乳がんに対する手術の実績および、乳がんに対する化学療法の施行を合わせて年間50例以上ある施設。
- 件数を設定した理由：治療の実施だけではなく、専門的施設であれば数値の設定が必要と考えた。

「第7次沖縄県医療計画」（胃・食道がん）専門的がん診療医療機関の選定要件案

開催日時：平成30年12月25日（火）19：00～20：00

開催場所：琉球大学医学部附属病院がんセンター

胃がん

(1) 常勤の消化器病専門医、かつ常勤の消化器外科専門医のいる施設。

消化器病専門医（(財)日本消化器学会）

又は消化器外科専門医（有限責任中間法人日本消化器外科学会）

(2) 胃がんに対する化学療法を施行している施設。

(1)、(2) 前回と同じ

(3) 胃がんに対する手術の実績が、過去3年間の手術件数の合計36例以上 又は
ESD30例以上ある施設。

○3年間とした理由：医師の異動などにより、1年間とすると件数にバラつきが出るため。

○ESDを入れた理由：ESDに力を入れている病院が増えたため。

食道がん

(1) 常勤の消化器病専門医、かつ常勤の消化器外科専門医のいる施設。

消化器病専門医（(財)日本消化器学会）

又は消化器外科専門医（有限責任中間法人日本消化器外科学会）

(2) 食道がんに対する化学療法を施行している施設。

(3) 食道がんに対する放射線療法を施行している施設。

(4) 食道がんに対する手術の実績が、過去3年間の手術件数の合計15例以上 又は
ESD10例以上ある施設。

(5) (2)～(4)を満たさなくても、エキスパートの協議によって認められた施設。

「第7次沖縄県医療計画」（大腸がん）専門的がん診療医療機関の選定要件案

開催日時：平成30年12月27日（木）19：00～20：00

開催場所：琉球大学医学部附属病院がんセンター

大腸がん

- (1) 常勤の消化器病専門医、かつ常勤の消化器外科専門医のいる施設
消化器病専門医（(財)日本消化器病学会）
又は消化器外科専門医（有限責任中間法人日本消化器外科学会）

(1) は前回と同じ

○前回の(2)は削除

削除の理由：現在は全ての化学療法施設が整備され機能しているため、要件より削除する。

- (2) 大腸がん（結腸がん＋直腸がん）に対する手術の実績が、過去3年間の手術件数の平均が50例以上 かつ
直腸がんに対する手術の実績が過去3年間の手術件数の平均が15例以上

※大腸がんと直腸がんの手術件数は現在検討中のため、仮の数字である。

○3年間とした理由：医師の異動などにより、1年間とすると件数にバラつきが出るため。